

# 西胆振の

# まちづくり

## 西胆振地域づくりビジョンと定住自立圏構想



まちづくりには、一つの市や町で取り組むよりも、広域的にいくつかの市や町が一緒に取り組む方が効果的な事務や事業があります。

今月号では、登別市を含む西胆振（室蘭市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町）のまちづくりについてお知らせします。

### 西いぶり広域連合のイメージ



※登別市は、西いぶり広域連合において、電算処理のほか、『西胆振地域づくりビジョン』の策定、『定住自立圏構想』の検討を行っています。

### 『西いぶり広域連合』 「いぶりまほむらびと」

市役所などの地方自治体では、さまざまな住民サービスを提供していますが、近隣の市や町でも同じようなサービスの提供を行っている場合があります。

『広域連合』とは、それぞれの市や町で個別にサービスの提供を行うよりも、いくつかの自治体が協力し、広域で行うことで費用を低く抑えたり大きな効果を上げたりすることができる事業などを行うための組織です。

わたしたちの暮らす西胆振には、3市3町で組織する『西いぶり広域連合』があり、ごみ処理やリサイクル処理、電算処理などのほか、広域行政の振興や課題の調査研究、連絡調整などを行っています。

登別市は『西いぶり広域連合』に加わり、住民票や戸籍のシステム、税の賦課徴収システムなどの電算処理を行っています。

また、西胆振の将来のまちの姿について考えるため『西胆振地域づくりビジョン』を作成したほか、国が提唱する新たな連携の取り組みである『定住自立圏構想』の検討を行っています。